

2013 第8回 農を変えたい! in いわて

参加申込書

このまま
019-684-2227
にFAXしてください。

●会場

花巻温泉 ホテル紅葉館(こうようかん)
花巻市湯本第1地割125 TEL0198-37-2140

●分科会申し込み

2日目分科会 参加希望の番号を選んでください。

- ①「震災・原発被災から立ち上がる農・地域・東北」 ②「有機農業技術の新時代」 ③「消費者と手を結び農を取り戻す」
④「TPP問題 - ゆずれない国、食、農のあり方」 ⑤「有機農業の到達点と、地域づくりへのアプローチ」
⑥「有機農業実践者の世代をつなぐ取り組み」

●参加申し込み

この参加申込書に記入し郵送またはFAX後、1/25(金)までに下記口座に必要な金額をお振込み下さい。

振込先 <small>※口座は郵便局ですが、銀行からも振り込むことができます。</small>	郵便局からの場合 【記号】18390 【番号】11368411(8桁) 【名義】真島実(マジママコト)
	銀行からの場合 【店名】八三八(ハチサンハチ) 【店番】838 普通預金 【口座番号】1136841(7桁) 【名義】真島実(マジママコト)

締め切り
2013年
1月18日(金)

※参加される催しに○をつけ、送金額を記入して下さい。 ※分科会の番号をお書き下さい。 ※2月2日の送迎バスの利用について ○印をお願いします。

氏名	※参加する全員の氏名			希望分科会		利用しない	11:50発を利用	12:30発を利用
	全日程参加 14,000円	集会・情報交換会のみ 9,000円	集会のみ 2,000円	第1希望	第2希望			
代表者				第1希望	第2希望			
				第1希望	第2希望			
				第1希望	第2希望			
				第1希望	第2希望			
				第1希望	第2希望			
	参加人数	人	人	人	送金額	円		
代表者住所	(〒)	TEL		FAX				
				所属団体 (もしあれば)				

申し込み・問い合わせ 「2013 農を変えたい! 東北集会inいわて」実行委員会事務局
〒020-0180 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3 岩手県生協連内
電話:019-684-2225 FAX:019-684-2227 メール:sn.i03727ty@todock.jp

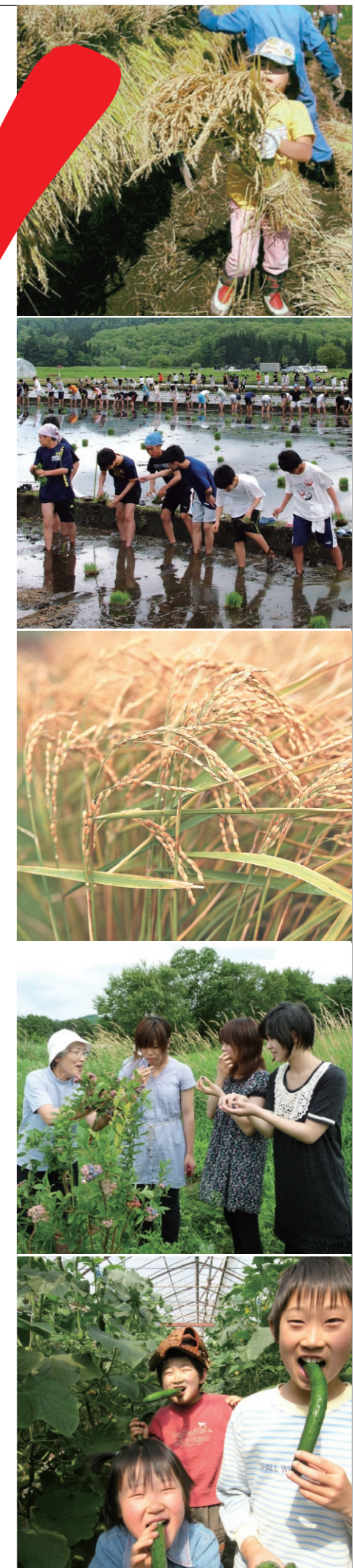
2013 第8回 農を変えたい! in いわて

私たちが主役 ~持続可能な暮らし、農、地域、東北~
~変わらない農の価値を未来へ~

とき 2013年 **2月2日(土) 13:00~**
2月3日(日) 12:30

ところ **花巻温泉 ホテル紅葉館(こうようかん)**
〒025-0304 岩手県花巻市湯本第1地割125

- 2月2日(土)**
- 12:00 受付開始
 - 13:00 主催者あいさつ・来賓あいさつ・歓迎あいさつ
 - 13:30 記念講演 「循環型のまちづくり~持続可能な再生可能エネルギーの利用」
講師 岩手県紫波町 藤原 孝町長
 - 14:45 基調講演 「原発・津波を乗り越えて東北の農を変えたい!」
講師 茨城大学名誉教授 中島 紀一氏
 - 15:45 特別報告
●「顔の見える関係で風評被害を克服。福島県農産物の販売活動」
●「南相馬市小高区の農業と生活の再建」
●「有機農業技術の新時代~微生物共生と農の世界~」
 - 16:30 分科会テーマの導入を兼ねた、各地からの実践報告
 - 17:30 第1日目全体会終了
 - 18:00 情報交換会(懇親会)
※情報交換会終了後は、青年農業者交流会、女性農業者交流会、大会宣言起草委員会を開催します。
- 2月3日(日)**
- 8:30 受付開始
 - 9:00 分科会 6テーマ(詳細は中面をご覧ください)
①「震災・原発被災から立ち上がる農・地域・東北」 ②「有機農業技術の新時代」
③「消費者と手を結び農を取り戻す」 ④「TPP問題 - ゆずれない国、食、農のあり方」
⑤「有機農業の到達点と、地域づくりへのアプローチ」
⑥「有機農業実践者の世代をつなぐ取り組み」
 - 11:00 全体会(分科会の報告、全体討論)
 - 12:00 集会総括・集会宣言
 - 12:30 閉会 ※プログラムは変更になる可能性があります。



主催 2013 農を変えたい! 東北集会 in いわて実行委員会
後援 岩手県・花巻市・紫波町・岩手県立大学・岩手有機農業研究会



開催のよびかけ

「農を変えたい!東北集會」は2006年の山形集會をスタートに、農民自身が知恵を出し合い各県持ち回り(青森県を除く)で開催し、この度8回目を岩手県で開催することとなりました。

2011年3月11日の大震災は東北の太平洋沿岸、岩手県・宮城県・福島県にかつてない大津波・地震の被害を与え、東京電力福島第1原発事故は福島県の人びとの暮らしとなりわいを壊し、人間と動・植物、大地と河川・海に計り知れない被害をもたらした。原発から飛散した放射性物質は宮城県・岩手県にも襲い掛かり、いまなお先の見えない恐怖と不安を与え続けています。

昨年の秋田集會では、地域循環型農業をめざしてきた多くの農民の生産基盤や長年の努力を破壊したこの原発事故や津波災害、緊迫するTPP参加がもたらす農業や地域経済、食の安全・安心、医療や自治体なども含む我が国の「すがた・かたち」を破壊する問題を掘り下げ、「もの言う東北の農民への変身」を誓い合い、生産者と消費者の連帯・協同の大切さを改めて確認しました。

あれから1年たちますが、原発事故の影響はますます深刻になっています。今集會では、震災や原発事故の有機農業などへの影響とその見直し、東電の誠意無い損害賠償への対応や子どもたちの健康への不安と影響など引き続き取り上げ、「福島を忘れず」、脱原発やこれからの再生エネルギーについての検討を深めなければなりません。TPPについても衆議院選挙後の反対運動の方向性や決意を固めたいものです。

大津波・原発・TPPの問題に限らず東北の農業をめぐる状況は悪化の一途を辿っています。生産物価格は安い輸

入食品の影響だけでなく、卸売市場の変質や巨大小売業の価格支配、働く国民の収入の相次ぐ減少などもあり、生産コストを賄えないような水準に下げられています。さらに、消費税の増徴による影響は生産コストや消費減少を加速させ、消費者の暮らしの悪化と同じように生産者の暮らしや経営を直撃します。既に我が国はアメリカをモデルにする新自由主義・株主資本主義への構造改革・規制緩和をあらゆるところで「完了させつつ」あります。これらがもたらした「弱肉強食」の競争原理至上主義は、失業とリストラ・非正規労働者を蔓延させ、農林水産業や地方経済の衰退、医療や介護などの社会保障制度をますます行き詰まらせ、99%の人びとが1%の強者の犠牲になる社会へと突き進んでいるのではないのでしょうか。

今回の岩手集會は、こうした問題意識の下に「私たちが主役!持続可能なくらし・農・地域・東北～変わらない農の価値を未来へ!」をテーマにしました。このテーマに基づき、生産者・消費者・JA・NPO・事業者・行政・研究者などが一堂に会して、心ゆくまで語り、意見交流できる場にしたいものです。

記念講演には第1次産業を生かした循環型まちづくりを住民参加で実践している岩手県紫波町の藤原町長にお願いできました。基調講演・特別報告・実践報告に基づく翌日の「6つの分科会」も、すべての参加者の発言で豊かなものにできるでしょう。また、夜の交流会も各県の銘酒を味わいながら心ゆくまで楽しみたいものです。花巻温泉(紅葉館)の湯も寒い2月の開催を癒してくれるでしょう。

是非、多くの皆さんにご参加いただき、東北の農業・食・地域の未来を希望をこめて語り合ひましょう。

2日目分科会 ①～⑥のテーマと内容

会場の都合がございますので、大会参加申し込み(表面)と同時に分科会の申し込みをお願いいたします。

①「震災・原発被災から立ち上がる農・地域・東北」

震災津波・原発の被災のなか、耕し、種を播く農民の魂の叫びに耳を傾け、立ち上がろうとする地域の実践を紹介、交流します。

②「有機農業技術の新時代」

どんだんすすむ有機の技術。微生物と共生する有機農業の理論が、実践的にも実証されますますますおもしろくなっています。有機農業技術の到達点を学び、可能性を検討します。

③「消費者と手を結び農を取り戻す」

原発事故後、有機農業生産者は通常の生産者以上に大きな打撃を受け、風評被害にも立ち向かっています。オーガニックフェスタなど消費者との新しい結びつきの実例を学び、今後の動向を考えます。

④「TPP問題ーゆずれない国、食、農のあり方」

これまでも反対してきたTPP協定について、総選挙後の情勢や新しい課題・問題について整理し、これからのTPP参加阻止の運動について考えます。

⑤「有機農業の到達点と、地域づくりへのアプローチ」

有機農業推進法後にみられるモデルタウンやエネルギー自給向上をめざす各地の取り組みやさまざまな形での地域づくりの実践と課題について検討します。

⑥「有機農業実践者の世代をつなぐ取り組み」

親世代や子世代双方の、世代交代にかかわる喜びや悩みを率直にだしあい、変わらない農の価値を次世代につなぐ大切さを話し合います。

会場について

花巻温泉 ホテル紅葉館

岩手県花巻市湯本第1地割125 ☎0198-37-2140

交通のご案内

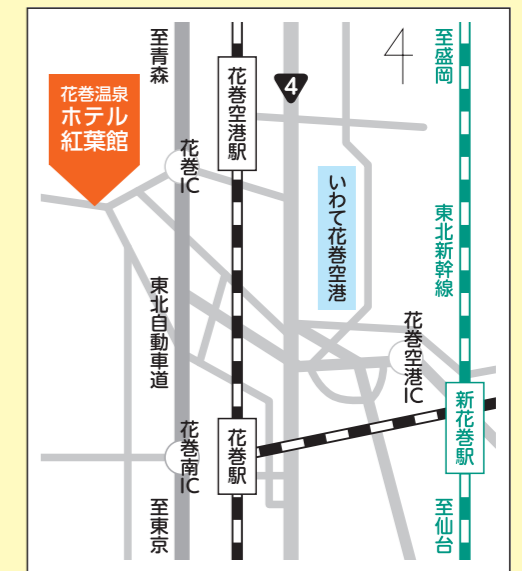
- 東北新幹線をご利用の場合
→JR新花巻駅 下車 車で20分
- 東北本線をご利用の場合
→JR花巻空港駅 下車 車で10分
- 東北自動車道をご利用の場合
→花巻ICから、車で5分

●無料送迎バスについて

2月2日(土)は、新花巻駅からホテルの送迎バスをご用意しています。11:50発と12:30発の2便です。ご利用の方は、申し込み用紙にご記入の上、新花巻駅前バス乗り場3番でお待ち下さい。

2月3日(日)は、ホテル前から12:50発と13:50発の新花巻駅行きバスがあります。ご利用の方は、前日ホテルにてご予約を承ります。

紅葉館には、中華レストラン、また隣接する「ホテル花巻」と「千秋閣」のホテルにも和食と洋食のレストランがございます。集會前後の昼食にご利用ください。



実行委員長

小島 幸喜 大東町有機農産物等生産組合・一関地方有機農業推進協議会

事務局長

真嶋 実 岩手有機農業研究会・JAいわて花巻職員
吉田 敏恵 岩手県生活協同組合連合会

呼びかけ人

小島 幸善 大東町有機農産物等生産組合
福本 敏 岩手有機農業研究会
加藤 善正 岩手県生活協同組合連合会
横山 英信 岩手大学

渡辺 基 岩手農民大学
細川 忠雄 岩手県農協労組
小島 進 ちいさな野菜畑
菅原 萬一 岩手コンポスト(株)
及川 実 自然農法文化事業団
荻原 武雄 いわて食・農ネット
小山 隆人 大東町有機農産物等生産組合
三浦 克男 ふじさわ有機の会
勝部 欣一 花菜油の会
塚原 良子 岩手有機農業研究会
三須田 善暢 岩手県立大学盛岡短期大学部
入江 敦 岩手有機農業研究会

柳谷 励子 岩手有機農業研究会
佐藤 吉洋 岩手有機農業研究会
真嶋 実 岩手有機農業研究会
清水 実 岩手有機農業研究会
佐々木 力男 岩手有機農業研究会
下黒沢 朝光 いわて食と農の情報室
谷口 吉光 秋田県立大学・地産地消を進める会・秋田
相馬 喜久男 秋田県有機農業推進協議会・東北有機農業推進協議会・秋田
佐藤 誠 大瀧村有機農業推進協議会・秋田
酒井 徹 秋田県立大学・秋田
志藤 正一 鶴岡市有機農業推進協議会・山形

竹田 良一 山形おきたま産直センター・山形
阿部 均 株式会社 米沢郷牧場・山形
小関 恭弘 米沢地域有機農業推進協議会・山形
小林 亮 山形県有機農業者協議会・山形
根本 洸一 NPO法人福島県有機農業ネットワーク・福島
菅野 正寿 NPO法人福島県有機農業ネットワーク・福島
長谷川 浩 NPO法人福島県有機農業ネットワーク・福島
佐々木 陽悦 JAみどり・宮城
黒澤 重雄 みやぎ有機農業ネットワーク・宮城
本田 強 環境保全米ネットワーク・宮城
土井 孝文 全有協・東京
中島 紀一 茨城大学名誉教授・茨城 ※敬称略・順不同